

リチウムイオン電池による火災に注意してください！

リチウムイオン電池を使用した電気製品の火災が増加しています

近年、リチウムイオン電池を使用した電気製品の使用中や充電中に出火する事例が増えています。リチウムイオン電池は小型・軽量・高容量が特長で、モバイルバッテリー、スマートフォンやタブレット、携帯ゲーム機、電動アシスト自転車など、私たちの身近にある製品に使用されています。しかし、使用方法や充電方法などを誤ると、過放電や過充電を起こし、最悪の場合、破裂、発火し、火災に至ることがあります。

リチウムイオン電池使用製品の注意ポイント

製造・輸入業者や販売業者が確かな製品を購入する

インターネットで購入したリチウムイオン電池使用製品の事故が多く発生しています。事故発生後に業者に問い合わせようとしても連絡先が不明であったり、海外の連絡先しか表示されていないことがありますので、製造・輸入事業者や販売事業者、型式、仕様、事業者の連絡先などが確かな製品を購入しましょう。

リコール対象製品は使用を中止する

不具合が生じていなくても使用を中止し、販売店や製造・輸入業者に連絡してください。

[🔍 リコール製品情報はこちら\(外部サイトに移動します\)](#)

非純正品のバッテリーの取扱いに注意する

リチウムイオン電池使用製品は、製品本体とバッテリーの両方の制御機能で安全かつ最適な機能を実現できるよう設計されています。

組み合わせによっては制御機能が正常に働かず事故に至るおそれがあるため、純正品の使用が推奨されます。

衝撃を与えない

外部からの衝撃が加わり、へこむなどすると内部がショートし、発煙や発火につながります。

分解や改造などをしない

リチウムイオン電池使用製品は、容易にバッテリーパックが取り外せない構造になっているものが多くあります。無理にこじ開けると、バッテリーパックに傷がつき、内部がショートし発火に至るおそれがあります。また、バッテリーパックの配線を改造するような行為も絶対にしないでください。保護回路が正常に働かなくなるなどし、火災につながります。

一般ごみなどと一緒に捨てない

一般ごみなどと一緒に廃棄されると、ごみ収集車や処分施設において火災が発生するおそれがあるため、ルールを守り正しく廃棄してください。

火災が発生する前に見られる兆候と誤った取扱い

- ・充電できない
- ・充電中に以前よりも熱くなる
- ・外装、バッテリーパックが膨張し、変形している
- ・落とす、ぶつけるなどで強い衝撃を与え、一部が変形している
- ・不意に電源が切れる
- ・車のダッシュボードの上など、高温となる場所に長時間放置する
- ・水没させる、水が掛かる
- ・冬場の車内など低温となる場所に長時間放置する

火災が発生してしまったら

- ・周囲に知らせて、119番通報してください
- ・リチウムイオン電池使用製品から煙や火花が飛び散っているときには近寄らず、火勢が収まってから消火器や大量の水で消火してください
- ・初期消火できない時は、安全な場所に避難してください

参考サイト

消費者庁ウェブサイト

♫「リチウムイオン電池使用製品による発火事故に注意しましょう-身に着ける、持ち歩く製品にも使用されています-」



問い合わせ先
予防課予防係
☎043-481-0136
佐倉市八街市酒々井町消防組合

